

令和5年度道路整備促進高知県大会 (主催:道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会)

令和5年5月15日(月)、城西館(高知市)において、濱田知事、四国地方整備局清水道路部長、西日本高速道路(株)四国支社後藤副支社長、高知県議会議員をはじめ、ご来賓の方々、会員の市町村長、議会議長などをあわせ約200名の方々の参加のもと、「令和5年度道路整備促進高知県大会」を開催しました。

大会では、国土交通省道路局高松環境安全・防災課長から、「道路行政をとりまく最近の情勢について」情報提供いただき、(株)JTB総合研究所執行役員河野部長から、「観光・賑わいと道路-地域経営のなかで求められる道路の役割-」と題してご講演いただきました。

その後、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算の確保、高規格道路のミッシングリンクの解消など、8項目の決議を満場一致で採択しました。

大会次第

- (1) 開会
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 来賓紹介
- (5) 道路行政をとりまく最近の情勢について
国土交通省 道路局
環境安全・防災課長 高松 諭 様
- (6) 講演「観光・賑わいと道路-地域経営のなかで求められる道路の役割-」
(株)JTB総合研究所 執行役員
地域交流共創部長 河野 まゆ子 様
- (7) 決議採択
- (8) 閉会

主催者・来賓挨拶



主催者
会長 池田 洋光

- ここ数年のコロナ禍においても、要望活動の成果もあり道路関係の予算が手厚く配分され事業が確実に進められている。
- 昨年度は新規事業化に伴い、本県の8の字ネットワークの着手率が96%となりミッシングリンクの解消に向けて大きく前進した。

- 6月10日には国道33号越知道路(2工区)バイパス区間の開通、令和7年春頃には南国安芸道路の高知龍馬空港IC~香南のいちIC間が開通予定であり高知県全体の発展に寄与するものと大いに期待している。
- 観光・産業振興による経済の活性化や迫りくる南海トラフ地震への備えを万全なものとするためにも道路の着実な整備を行っていかねばならない。



高知県知事
濱田 省司 様

- 県経済に打撃を与えた新型コロナウイルス感染症は、社会経済活動の正常化に向けた動きが加速し、コロナ禍前の日常生活を徐々に取り戻すと思われる。今後、観光客の増加が期待される。
- さらなる県勢浮揚を成し遂げるためには、安全で快適な人流と安定した物流の確保は不可欠。災害に強い道路ネットワークの構築に加え、防災対策の推進が必要。

- 本県の8の字ネットワークの着手率は96%となり、未事業化区間は残る2区間となっている。県としても、高規格道路の整備促進に向け、積極的に提言活動を行うとともに、県管理道の整備・維持管理にもしっかり取り組む。



四国地方整備局長
(代理)道路部長
清水 純 様

- 国道33号越知道路(2工区)バイパス区間は6月10日の開通を予定。
- 四国8の字ネットワークに関して国道55号南国安芸道路の高知龍馬空港IC~香南のいちIC間の令和7年春頃の開通を目指し事業を進めていく。
- 高知県を訪れる観光客の一層の増加が期待される中、道路整備の進展は観光周遊支援に大きく寄与するものと考えます。

- 防災・減災、国土強靱化に引き続きしっかりと取り組むためにも、必要な予算確保に最大限努力するのでご支援、ご協力いただきたい。



西日本高速道路(株)
四国支社 副支社長
後藤 由成 様

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、社会経済活動の正常化に向けNEXCO西日本としてもできる協力は惜しまない所存。
- 高速道路は生活・経済に欠かせない重要インフラであり、被災地の救援・復旧にあたっては非常に重要。
- 大規模な災害に備え、関係機関のみなさまとも災害対応訓練に取り組むほか、命の道として速やかに機能回復できるよう橋梁耐震補強事業を進めていく。

- 安全・安心を最優先に、四国地方を支える高速道路ネットワークにより、地域の発展や利便性向上に努めて参りますのでご支援、ご協力いただきたい。

情報提供

【道路行政をとりまく最近の情勢について】

- 近年、道路関係予算が横ばいの中、維持修繕費が増加したことにより、改築予算が減少。
- このような中、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策及び5か年加速化対策等の補正予算により予算を確保している状況。
- 5か年加速化対策は全体で15兆円程度の規模であり、3年間で約9.6兆円を予算措置し、その効果が発揮されているところ。
- しかしながら、必要などころにまだ行き届いておらず、5か年加速化対策完了後はどうするか考えていく必要がある。
- 千葉県八街市における死傷事故（令和3年6月）をうけて、通学路の安全対策に取り組んでいるところであるが、道路管理者による対策は遅れており、暫定的な安全対策の実施を含め、本年度末までに安全対策を進めるようお願いする。
- 高速道路の適正な管理や機能強化を図るため、料金徴収期間を延長する関係法令の一部を改正する法律案が4月に衆議院で可決し、いよいよ参議院での審議が始まる。



国土交通省 道路局
環境安全・防災課長
高松 諭 様

講演

【観光・賑わいと道路 -地域経営のなかで求められる道路の役割-】

- ツーリズムにおける前提条件として、持続可能性の追求、ローカル経済圏の構築、SNSの一般化など、消費者の意識や行動がコロナ禍で急速に変化した。
- インフラツーリズムに対する認知度は約20%。土木構造物そのものの魅力や、非日常の体験ができる“特別感”で興味をもっている。他方、不便な立地や、のんびりできなさそうなイメージがマイナスとなっている。
- 「ダムカード」や長野県小谷村の「砂防ダムツアー」など、成功している事例がある一方、生きている道路や橋は「土木遺産」とみなされにくく、見学・体験環境を整えることが難しい面がある。
- 地域において道路に求められる役割が変化しており、「ほこみち」をはじめとした屋外のたまり場機能、歴史の証拠としての沿道景観形成等が求められている。
- インフラをツーリズムに結びつけるためには、「地域に存する意味(ストーリー)」が重要である。道路の強みは“つながっていること”であり、地域を語る素材になり得る。また、身近であるがゆえ、技術の進歩による驚きを与えることも可能である。



(株)JTB総合研究所
執行役員
地域交流共創部長
河野 まゆ子 様

決議

- 決議案を力強く朗読。全会員の賛同をいただき、道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会として採択した。



副会長 小田 保行

閉会挨拶

- 令和7年春頃には南国安芸道路の高知龍馬空港IC～香南のいちIC間の開通が予定されるなど、四国8の字ネットワークをはじめとする本県の道路整備は着実に前進。
- 引き続き、各市町村が直面している様々な課題の解決に不可欠となる道路整備を着実に進めるため、会員が一丸となって取り組んでまいります。



副会長 中平 正宏

